

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係したお話し ・ルカ19:41～48

イエス様がろばの子にのってエルサレムにむかわれると、多くの人が「ばんざい!!救い主が来られた。」と大声で言いました。しかし、イエス様はエルサレムの町に近づかれると「やがてこの町は滅ぼされてしまう。」と涙を流されました。神殿では、神様を礼拝する人達が沢山集まっていた。イエス様の時代は、動物をいけにえとしてささげて礼拝がされていました。だから、遠くから来る人たちの為に、いけにえの動物が売られていました。しかし、売る人達はお金儲けの事ばかりを考えていました。又、その人達をつかっていたエライ人たちは、みんなの前では神様を礼拝するふりをしていましたが、心の中では、神様の事よりも、どうやったら自分達がエライままでいられるかばかりを考えていました。そして、イエス様の人気がでてきて、自分達よりも偉くなってしまうのでと恐れ、イエス様の事をやっつけようと考えていました。

その人たちの心の中をみぬかれたイエス様は、商売をしていた人たちを追い出し、そこにあった椅子や机をひっくりかえしてしまわれました。そして、「神様の家は、お祈りする場所、礼拝する場所といわれているのに、あなたがたは、まるで強盗のような悪い心で一杯です。」と言われました。イエス様が涙を流され、激しく怒られてから 40 年後、エルサレムの町は、イエス様の言われたとおり、ローマの軍隊によって滅ぼされてしまいました。

イエスさまは、私達の心の中までご存じの方です。みんなの前では、良いふりをしていても、陰で人の悪口をいったり、自分が得することばかり考えているなら、私達の人生はやがてダメになってしまうでしょう。そうならないように、イエスさまは、ときどき私達の心も大掃除をなされます。具体的には、とても嫌な事がおこるようにされます。そのような時、私達は自分の心にイエス様が喜ばれないものがないか確認する人になりましょう。

③聖書の言葉を2回告白しよう。

ちから かぎ み は ころ みまも
力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。

いずみ しんげん
いのちの泉はこれからわく。箴言4の23



④じぶんのところに、イエスさまに よろこばれないものは
ありませんか。もし、きがついたら、ごめんなさいの
おいのりをしよう。

